

洋光台エリア会議・平成 24 年度の取り組みの現状

① 地域活動団体ヒアリング（高齢者支援・子育て支援・多世代交流等 8 団体） ② 第 1 回全体ワークショップ（11 月 10 日実施、62 名参加） ③ テーマ別ワークショップ（A：駅前活性化　B：コミュニティ活性化と多世代交流） ④ その他（環境・住棟…）	神奈川県 ⑤ 多世代近居のまちづくり計画（洋光台をモデル地区に） ⑥ 多世代交流担い手講座を 1 月より実施（空き店舗等を活用した多世代交流拠点の試行） ⑦ 住み替え相談会（地域内住み替えサポートの試行・講演会と合わせて 1 月より実施）	横浜市 ⑧ 次世代育成プロジェクト（市内の高校生によるまちづくり提案の取組み。洋光台を検討対象のひとつとしている） ⑨ 共創フォーラム（民間企業へ洋光台の取組みを紹介）
---	---	--

■ 項目別取り組み状況

H24 年度の主な取り組み項目

a) 洋光台駅前商店街への地域活動拠点の設置に向けた検討

① 駅前空き店舗活用への要望等

- ◆まちの中央に位置する洋光台の駅前地区は、人が集まる賑わいの核としての役割が期待されている。
- ◆「以前と比較して賑やかさが減った」「もう少し活気が欲しい」など機能強化が望まれている。
- ◆空き店舗の活用に関しては、多世代の居場所・おしゃべりサロン・ミニ図書館・コミュニティオフィス・まちのアンテナショップ・まちのインフォメーションセンター等の意見あり。「多世代が」「気軽に利用でき」「交流・つながりが生まれるもの」を求める声が多い。
- ◆洋光台は自主的サロン活動が活発であり、ワークショップ参加だけで 4 つのグループがある。空き店舗活用へ向けた担い手側の関心・意欲は高い。（**①②③**）

② 今後の進め方

- ◆テーマ別 A において、駅前地区の目指すべきイメージや必要な機能、空き店舗の活用・運営のあり方、具体的取組み等を継続的に検討。（**③**）
- ◆空き店舗活用試行実験として「担い手講座」をスタート、3 月中 3 日間の実施を目標。（**⑥**）

b) 地域北部における福祉及び多世代交流拠点に関する検討

（旧：地域ケアプラザのランチ機能誘致の検討）

① 福祉・交流拠点に関する現状と課題等

- ◆現在地域ケアプラザは地域に 1 ヶ所。地域北部からのアクセスがしにくいなど、地域全体で日常的に利用しやすい福祉及び地域交流拠点が強く要望されている。
- ◆北団地集会所や町会会館、NPO・企業事務所等で、高齢者を対象とした定期サロンや出前講座、子育て広場等が開催されているが、「ふらりと行ける」常設化のニーズは高く、担い手となる人材も豊富。（**①②③**）

② 今後の進め方

- ◆テーマ別 WS-B において、福祉も含めた多世代交流拠点のあり方、特に地域北部に必要な拠点機能や活用イメージ、運営方策等を継続的に検討。北団地集会所の活用を念頭におく。（**③**）

c) 地域が必要とする新たな移動手段（モビリティ）導入の検討

① 地域の移動手段に関する現状と課題

- ◆バスルート変更の要望（地域ケアプラザに行きにくい）、移動支援 NPO から「高齢者の移動支援ニーズは高いが支援側マンパワーが不足」などの意見あり。（**①②③**）

② 今後の進め方

- ◆テーマ別 A・B において、関連する移動手段の課題・取組み等についても取り上げていく。（**③**）
- ◆移動に関するニーズ把握、地域全体でのあり方については H25 年度以降の検討テーマとする。

d) 円滑な地域内住み替えに向けた検討（旧：地域内住み替えシステム構築に向けた検討）

① 地域内住み替えに関する現状と課題

- ◆不動産事業者ヒアリング、及びワークショップのなかで、若い世代の地域内住み替えや洋光台育ちの U ターン例の報告あり。一方で高齢者の住み替えは抵抗感が強いとの指摘。（**①②⑤**）

② 今後の進め方

- ◆「住み替え相談会」と合わせたニーズ把握を行う他、地域内住み替えの実態・ニーズ把握支援方策等は H25 年度以降の検討テーマとする。（**⑦**）
- ◆高層住棟の改修に合わせ、サービス付き高齢者住宅等の導入を検討。（UR）

f) 中層住棟屋上等への太陽光パネル設置・エネルギー活用に向けた検討

- ◆団地管理における小型 EV の試行（UR 団地管理に活用）、UR 中層住棟への太陽光パネルの設置等

H25 年度に向けて検討を行う項目

e) H25 年以降の洋光台エリア会議の体制及び対象エリアの検討

- | | | |
|-------------------|---|--|
| ① 検討体制
② 対象エリア | } | ・・・ワークショップの進捗状況を踏まえ、次回エリア会議にむけて検討を進める。 |
|-------------------|---|--|

g) 基礎調査（事業効果指標検討）

- ◆ワークショップの進捗状況を踏まえつつ、洋光台の事業展開や状況に即した内容を追加検討する。
- ◆アンケート調査を定期的に行うなど、ニーズ把握を通じた事業効果の検証手法に関して検討する。